

日本学生オリエンテーション連盟

2003 年度第 3 回幹事会議事録

日本学生オリエンテーション連盟 広報部

日時：2004 年 1 月 17 日 10：00～

場所：大学セミナーハウス（八王子）

出席者：

現幹事

氏名	役職	大学と学年	出席
菊池 貴志	日本学連幹事長	東京農工大学 3 年	
内藤 愉考	日本学連副幹事長	東京大学 4 年	
下村 佳奈	北東地区代表幹事	岩手大学 3 年	
長澤 憲太郎	北信越地区代表幹事	新潟大学 3 年	
佐伯 貴央	関東地区代表幹事	千葉大学 3 年	
三宅 文彦	東海地区代表幹事	名古屋大学 3 年	
村上 憲一	関西地区代表幹事	神戸大学 3 年	
中村 倫崇	中九四地区代表幹事	山口大学 3 年	
熊野 匠人	事務局長	東京大学 3 年	
田部 恭裕	事業部長	大阪大学 4 年	
横関 梓	会計	東京農業大学 4 年	
吉田 建典	広報部長	金沢大学 3 年	
岡 英樹	会計監査	東京工業大学 2 年	
及川 弘文	会計監査	岩手大学 3 年	

次期幹事

氏名	役職	大学と学年	出席
堺 信夫	日本学連幹事長	大阪大学 4 年	
荒井 友香	北信越地区代表幹事	新潟大学 3 年	
北崎 茂	関東地区代表幹事	東京工業大学 3 年	
櫻木 伸也	東海地区代表幹事	静岡大学 3 年	
松村 小夜子	中九四地区代表幹事	山口大学 3 年	
築山 絢	事務局長	早稲田大学 3 年	
花木 睦子	事業部長	千葉大学 4 年	

その他

古川（活動報告書作成委員会） 上田（理事長） 土方（理事） 西脇（技術委員会） 遠山（伊賀インカレ）

1. 自己紹介

新旧幹事の初顔合わせとすることで出席者の自己紹介をしていただきます。

2. JOA への競技者登録について

先日の JOA 競技専門委員会から学生の競技者登録について、登録作業を学連が代行して登録者増・加盟作業の効率化ができないかと提案がありました。この提案に対し議論を行います。

また学連自体の登録方法についても提案（資料参照）があるので検討します。

競技者登録について

県協会を通して競技者登録をする大学もあるため、学連は一つの登録の窓口としての働きをする。そのとき手数料は取らず、登録料のみ集める形とする。以上のことを JOA と協議してみる。

学連登録について

来年からはエクセルでの登録も可能になる。今まで使ってきた紙での登録も可能。また、地区学連と日本学連の加盟が同時に行われる形態を、変更することはできないのかという意見も出たが、これは ML 等でこれから議論していく。

3. 2003IC について報告

- ・ 通常エントリーを締めきった。
- ・ 選手の参加が700名弱、チームオフィシャル70人弱のエントリー。
- ・ 予算としてみこんだ計800名をやや下回るも予想の範囲内。
- ・ 現在、遅れエントリー受付と参加費請求を行っている。
- ・ 地図調査は、現在3次調査中。ほぼ順調。
- ・ 例年、コース図がたくさん余るという無駄が指摘されているので対策を検討中。例年と変更がある場合は要項4で発表する予定。
プリンタ印刷で対応予定。精度は若干悪くなるが、競技に影響するほどではない。
- ・ 要項4（プログラム）をOC大会で配布予定。インカレガイドも発行予定。
- ・ 広報の一環として、広報誌の作成・MTB Oへの外部への宣伝・トトなどを予定している。
- ・ 前回総会で予告していた、地元向け練習会は地元小学校の行事の都合で中止。

4. 2004 インカレロングについて

2004 ICL は愛知県協会主管・学連主催となります。また同日に東日本大会が行われます。この件について運営方針を決めます。また2004年全日本大会のE権についてICL参加者に特別に獲得権利が与えられることとなります。これについて学連持ち帰りとなった点について議論します。

運営について

東日本大会とは全く別の大会として運営される。運営はWOCが行うため、学連側としてはコントローラーを派遣するくらいでよい。そのため、2004年度のインカレ実行委員はロングと、ミドルを統合する。また、手伝いについては、要請があれば積極的に行う。

E権について

以下の内容を、来春のJOA理事会、総会で決議する。

- ・ ME、WEクラスの6位までに全日本大会21Eの参加権を付与する。
- ・ ME、WEクラス参加者のうち20歳以下の選手に全日本大会20Eの参加権を付与する。
- ・ MF、WFクラスの3位までに全日本大会20Eの参加権を付与する。

その他

各大学のチームオフィシャルは東日本大会に参加できない、インカレ開会式の運営など、いろいろ問題点や疑問点が出てくるはずなので、意見を学生側に求めている。

5. 2005 インカレロングについて

2005 ICL について運営は99年度同期会が引き受けることになりました。しかし引き受けるにあたっていくつかの条件を提示されました。その内容を学連が受け取れるか検討します。

- ・ 学連側からのスタッフ派遣について：向こうが提示する人数は学連が集める。

11 / 11 承認

6. 日光のクローズ解除に向けて

トラブルによってクローズがかかったままである日光地方ですが、各方面からクローズ解除への要望が来ております。学連としては学生のマナー向上にむけて取り組んでいましたが、このほかにも課題である渉外方法の確立に対し議論を行います。

マナーについて

各学生一人一人が意識を高めていくしかない。もっとオリエンテーリングという競技の本質を理解した上で、地元住民と接すれば規律ある行動をとることができる。

インカレプログラムに広告としてこの問題を取り上げる。11/11承認
メーリングリストに流したり、大会で配布物を配るなどの宣伝活動。
幹事を通して各個人に対して言っていく。

渉外活動について

インカレの地図販売、渉外活動は各地区学連が担当する。11/11承認

伊賀インカレ後の地図管理、渉外は関西学連が引き継ぎ予定。そのとき、引継ぎマニュアルも作成。

7. これからのインカレの運営について

インカレの運営は今まで理事の働きかけによるOBさんの手によって作られてきました。しかし、そのOBさんも卒業して数年した人が多く、卒業したてのOB1年目・2年目といった人の参加がありません。また大学を卒業してからオリエンを離れる人も少なくありません。このため、インカレの運営について運営者を継続的に確保するための制度作りを行いたいと思います。

また、インカレ運営に対して現役学生ができることを調べ、ガイドラインをつくり学生が積極的に運営に参加できるようにします。

最近の学生はインカレの歴史も知らなければ、どのように運営されているかも知らない人が多いように感じられる。インカレという大会は元はと言えば学生が自分たちのために作ったものであり、インカレは学生に与えられる大会ではないという認識が薄いのではないか。そのため、学生生活が終われば、自分はインカレとは無縁の存在と感じたりするのではないか。

学連側はインカレに対する学生の意識を、競技面だけでなく、運営面に関しても向上させていくことを考えていく。また、自分たちの後輩にもすばらしい大会を残そうではないか、という考え方も浸透させていく。

8. 理事会報告

- ・ 2002年度会計報告
- ・ ジェネシスマッピングの事業拡大に伴い、事業部・関東学連の引越しを行う。年度末又は4月を予定。
- ・ インカレシードを決定した。

9. 技術委員会報告

- ・ 第2回学連合宿の会計報告。

- ・ インカレコントローラーの推薦。

質問について

- ・ 現役の学生がシード選考や、エリート枠の再配分を行っている技術委員会に所属しているのには不適切ではないのか。

枠の再配分は計算で行うため、誰がやっても同じ結果となる。

シード選考は現役を抜いて議論しているため、不適切ではない。また、学生側からシードの推薦があった場合、どのように反映させていくのか議論している。

10. 幹事の役職について

役職分担ですが昨今の改革により各役職の負担分が偏ったりしています。ここで各役職の仕事について整理すると共に仕事内容が均等配分されるように調整します。

副幹事 マナー向上について考えていく。

事業部 一人でもできる分量である。

広報部 HP 管理人ができるため、負担は軽減される。

11. 地図管理について

地図販売については一応の決着が付きましたが、最近では OCAD データでほしいところも出てきます。このためデータ管理の担当を決めようと思います。また販売地図に対する渉外担当者も決めておきたいと思います。渉外活動の都合上では地方学連に販売委託も考えたいと思っています（例：2003IC・・・関西学連）

OCAD について

- ・ OCAD データは事務局で管理 11 / 11 承認
データは学連主催の行事にのみ貸し出す。
地図販売に関しては、6 で議論済み。

12. 学連 HP について

継続議論となっている議題ですが、管理人が決定したので具体的に行動を起こします。新規公開内容を詰めると共にそれに伴う作業（規約の入力など）の分担を決めます。

規約集の変更後のデータについて

各地区学連の事務局に問い合わせる。

関東学連でもマナーの文章を作成する。日本学連との兼ね合いについて

HP に載せる内容はいろいろな学連から集めてもよいはずなので、関東学連から原稿をもらう形でもよいのではないかと。

その他

届出書や、学連手続きなども Web 上からもできるようにする。

13. 広報活動について

現在学連では広報誌としていぶきを発行していますが、発行の遅れのほか、内容的にタイムラグが生じてしまいます。このため現在 ML を流してメールマガジンなどを任意で発行していますが、これについて明確な方針を決めようと思います。

このほかに ML について学連内部・外部から区別しにくいとの指摘があるので、名称変更など行います。

いぶきについて

学連 HP が稼動すればいぶきの原稿は自然とできるため、印刷、郵送の仕事のみとなり、大幅に負担軽減となる。

ML について

案内文を丁寧にできないか。HP に案内を載せる。

アドレスの変更 uofj-all y-uofj, uofj-k k-uofj, uofj-ml ml-uofj に変更。

14. 後援について

日本学連後援申請について具体的なガイドラインがあまりなかったために後援の決め方がはっきりしていません。そのため、ガイドラインを作ると共に賛助会員登録の後援大会での受付を義務化するにあたって条文改正を行う予定です。

時間があれば賛助会員・評議員システムについても見直します。

賛助会員について

賛助会員登録の義務化のため条文を変更する。尚、賛助会員登録は学生の主催する大会のみに限定する。

後援大会について

学連 HP や ML で宣伝を行う。それにより、賛助会員特典も調べやすくなる。

15. 新歓活動について

- ・ 新歓パンフについて：特にパンフの配布は考えない。HP 上に公開する程度。

16. 評議員について

評議員について質問が出たのでまとめておきます。

評議員 運営の手伝いなどが主な仕事。

- ・ 仕事がかぶるとわかりづらい（インカレ実行委員は評議員も同時に兼ねるなど）
逆の言い方をすれば、運営をするときは評議員にならないといけない。

- ・ 評議員は幹事会の承認を受けているのか
年数回の幹事会では対応できないため、幹事長の先決特権を利用している。
- ・ 評議員の名簿がない(大会時の優遇措置に対応しづらい)
名簿を作ります。

17. 大会後援申請の承認

今回は無し

18. 地区学連活動報告

【北東学連】

12月6日 独自セレモデルイベント

第2回北東学連総会(予定)

12月7日 独自セレクションat菜の花台(諮問委員会主催、サンスーシ協力)

【関東学連】

12月12日 第8回学連総会(場所未定)

【北信越学連】

11月30日 インカレセレ2戦目(下山大会)

【東海学連】

11月30日 伊賀インカレセレ#1(下山大会)

12月26日 東海学連冬合宿

~28日 伊賀インカレセレ#2

第二回東海学連総会(三河高原)

【関西学連】

11月30日 インカレセレ(下山大会)

12月7日 第三回関西学連定例戦(黒添池)

12月14日 ウェスタンカップリレー

【中九四学連】

12月7日 中九四インカレセレ

12月21日 山口大学大会

19. 各部局報告

事務局

提案：保険と関係する活動届出書報告書の提出について書式の改訂。

事業部

インカレの当日の作業の方と実行委員との連絡をした。後夜祭、講習会の書類を作成

広報部

HPの管理人が決まる。

20. 次回幹事会の日程について

・インカレリレーの日。3月14日の夜の予定。

宿取りは田部が担当

以上